

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 4113

教育相談・生活相談のご案内

【児童・生徒の教育相談】	【青少年の生活相談】
＊ 相談日・時間 土・日曜日及び祝日を除く毎日 AM9:00～PM5:00 ＊ 場 所 市総合教育センター内（埴生中学校敷地） 教育相談センター 電話相談・面接相談 273-5105（直通）	＊ 相談日・時間 月・水・金曜日 AM9:00～PM4:00 （要・予約） ＊ 場 所 千曲市役所 4階 少年育成センター（生涯学習課内） 電話 273-1111（内線 4113） ＊ E-mail：youth@city.chikuma.lg.jp

※いずれも秘密は守られます

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 声かけて 地域がつながる 増す安全 —

α（アルファ）世代に思う

治田地区少年補導委員

今年度から少年補導委員を仰せつかった。
「補導委員」？一般人に少年を補導する権限があるのか？と思いつつ、パトロールの時に何か「悪さ」をしていそうな子どもたちに声をかけるのは少々怖くもある。

それはさておき、この原稿を書いている時点で徒歩のパトロールが二回、青パトによるパトロールを一回やってきたが、子どもがいない。いや、「子どもの姿を見るのがほばない」というのが正直な感想だ。

小中学校の下校時刻に合わせてパトロールの時間を調整しても、公園や神社などいわゆる「たまり場」といわれるところで子どもたちの姿を見ない。いったいどこにいるんだ？

私が子どもだった五十年前ほど前には、放課後は学校のグラウンドで草野球をしたり、近くの神社でたむろしたりしていた記憶がある。

そういえば近年、誰が見ても「不良」と言われる子どもを見かけない。不良を美化する訳でも肯定する訳でもないが、今の子どもたちは総じて真面目である。少なくとも、私の目には、そう映る。

最近の子どもたちは「Z（ゼット）世代」或いは「α（アルファ）世代」と区分けされるらしい。我々の頃は、「しらせ世代」と呼ばれていたことを思うと、随分言われ方も変わってきた。「Z」とか「α」は、デジタル関連に由来するらしい。そういえば、パトロール中に公園で出会った数人の小学生は、対戦型ゲーム機で遊んでいた。

七月の定例補導委員会で、「よい子を見つけましょう。」との話が出た。どうも際立つ不良は姿を消したようだ。

安堵感に胸を撫で下ろしつつ、子どもたちの健全育成のため、二年間のパトロールをやりとげたい。



2 ページ、3 ページでは、6 月～8 月の活動について紹介しています。写真も載っていますので、ご覧ください。

6月～8月の育成センター活動



少年補導委員による定期的な巡回補導を実施しました。公園、神社、通学路、学校などで青少年の様子を見ながら、声をかけたり、安全面を確かめたりしています。

また、7月は「青少年の非行・被害防止全国協調月間」でした。育成センターでも、街頭啓発活動や環境チェック活動を行いました。

<青少年の非行・被害防止全国強調月間 一斉啓発活動>



7月1日の朝、屋代駅で啓発活動を行いました。駅を利用する高校生などに、健全育成リーフレット（「伸びよう 伸ばそう 青少年」NO!性被害 NO!ネット被害 NO!万引き）と、あいさつ運動（おはよう!から始める元気な1日）のポケットティッシュを渡しました。こちらのあいさつに、「おはようございます。」とあいさつを返す高校生も多く、すがすがしい朝のスタートとなりました。

<環境チェック活動>

7月13日、14日に行った「環境チェック活動」では、それぞれの地域の店舗を訪問し、有害物があるかどうか、酒・たばこの有無、飲酒や喫煙への配慮状況についてチェックさせていただきました。よい環境であると認めた店舗には、「青少年健全育成協力店」として登録、「ひまわりっ子シール」をお渡しし、店舗に貼っていただくように依頼しました。

訪問したお店はいずれも環境面での問題点はなく、お店での青少年の問題も起きていないとのことでした。

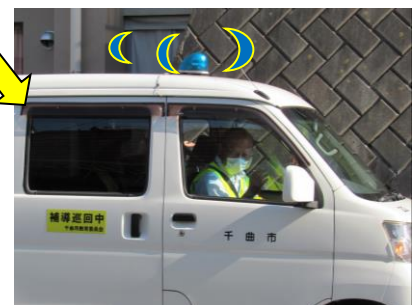


<巡回補導>

巡回補導は6月までは徒歩での活動でしたが、7月からは青パト（青色回転灯を装着した車を利用してのパトロール）も実施しています。その様子を補導日誌を中心に紹介します。

6月3日（金）五加小学校区 内川公園・内川神社と周辺

翌日に運動会がある五加小学校の5年生20名くらいが元気よく遊んでいました。高学年の女子児童が自分からにこやかに「こんにちは。」とあいさつをしてくれました。保護者と一緒に小さな子どもも10人ほどいました。バスケットゴールの鉄柱のクッションは修理されていました。トイレもきれいでした。内川公園はきれいに整備されており、



さまざまな年代の人が安心して遊べる公園だと感じました。

6月17日(金)屋代小学校区 セブンイレブン→地下道3か所→通学路→屋代高校前駅

地下道の壁には子どもたちの描いた画が貼ってあり、きれいでした。工業団地入り口地下道には防犯カメラが数年前に設置されました。屋代高校前駅は駅員さんがいる時間帯は平日 7:00~10:45 と 15:55~18:45 です。それ以外の時間と土日は無人の駅になります。高校生とすれ違いましたが、あいさつしてくれ、気持ちよく巡回活動ができました。



7月22日(金)更級小学校区 更級小学校→帰宅路→羽尾第五区公民館→佐良志奈神社



夏休み前の一斉下校日で、午後 2 時 45 分から下校が始まり、暑い中、家に持ち帰る荷物を抱え、特に低学年の子どもたちは大変そうな様子でした。しかし、帰りのあいさつの声かけをすると、大変ながらも元気にあいさつを返してくれました。遠い子どもたちの通学路を青パトで巡回しました。数人の子と出会いましたので、気を付けて帰るように声かけしました。

<学校との合同補導>

8月1日~5日には、小中学校の先生、保護者代表の方と一緒に「合同補導」を行いました。例年夏休みに行っている活動です。新型コロナウイルス感染症のレベルが上がっていた時期ですが、対策を行って実施しました。公園、店舗を巡回したほか、公民館や図書館、市民プールなどで小中学生の様子をお聞きしたり、通学路の危険箇所について情報共有したりしました。



市民プールは、3年ぶりに開きました。10名の監視員が安全を見守っているそうです。



夕方、涼しくなった更埴中央公園。大型遊具では元気に遊ぶ小学生の姿がありました。



コーヒーショップで様子をお聞きしました。店内では高校生の姿もありました。

編集室の窓



少年補導委員には、巡回補導後「補導日誌」を書いて、事務局に送付してもらっています。その中に、小学生、中学生、高校生が気持ちのよいあいさつをしてくれて、爽やかな気持ちになった、というような内容がしばしば載っています。健全育成の基本のひとつは、あいさつであり、互いにあいさつのできる地域は、防犯力も高いと言われています。少年補導委員も積極的にあいさつの声かけをしています。そして、その姿を学校や地域の皆様と共有し、爽やかな青少年を増やしていきたいと考えています。

～わたしのゆめ～



令和の時代に訪れたのは、AIの発達に加え、自然災害、パンデミック、戦争など、まさに予測できない状況でした。このような時代に生きる子ども達が、どんな夢をもち、どのように生きていこうとしているかを紹介します。

「わたしのゆめ」

八幡小学校

3年 作田 結愛

わたしのゆめは、動物を保護してあげる仕事につくことです。わたしは、犬やねこがとても大好きです。町の中で、のら犬やのらねこが歩いているところを見るとかわいそうな気持ちになります。車にひかれてしまうかもしれないと思うと、とても悲しくなるからです。そういう犬やねこを保護してあげて、かいぬしさんが見つかるまで大切にめんどろをみてあげたいです。もしも長い間、かいぬしさんが見つからなくても大切に育ててあげて、犬やねこたちに「幸せだなあ。」って思わせてあげたいです。

そのために、これからもっと動物のことを勉強したいです。そして、大人になってその仕事につけるようにがんばりたいです。

「私の夢」

五加小学校

6年 竹内 奈々

私の将来の夢は、「人を喜ばせる介護士」です。私は今、介護士になれるようにおばあちゃんやおばあちゃんの知り合いに優しくするように心がけています。3年生の時にフランスーズ悠へ行って歌を歌ったときに、たくさんのおばあちゃんやおじいちゃんが嬉し泣きしていました。その時に、「私たちが何かすることで、おばあちゃん達を喜ばせられるんだ。」と思ったのがきっかけです。夢の達成のために、おばあちゃんを喜ばせたり優しくしたりするだけではなく、おばあちゃんが喜んでいるかどうか顔をみながら話しかけたりするようにしています。これからは、もっとたくさんの人を喜ばせたり、困っていることを優しく手伝ったりできるようにがんばります。

「バスケットボールの選手」

戸倉上山田中学校

2年 角田 夢河

僕の将来の夢は、バスケットボール選手になることです。僕には、憧れているプロのバスケットボール選手がいます。その選手のような活躍をして、自分も有名になりたいと思うようになったことが、この夢をもつきっかけになりました。この夢を実現させるためには、たくさん練習の積み重ねが必要だと思います。また、バスケットボールはチームスポーツなので、お互いの信頼関係を築いていくことも大切なことだと思っています。今所属しているバスケットボール部での活動に全力で取り組むことと、バスケットボール以外の場面でも、仲間同士の信頼関係を築いていかれるような行動をすることで、一歩ずつ夢の実現に近づいていきたいと思っています。

「わたしの夢」

戸倉上山田中学校

2年 齊木 望愛

「やらないで後悔するより、やって後悔する方がいい。」これは、私が「声優」という職業にあこがれを抱き、興味を持ち始めたきっかけとなった言葉です。私は、昔からアニメが大好きで、今でもよくアニメを観ます。そんなある日、ふとテレビを観たとき声優の特集をやっていました。これが「声優」という職業との出会いでした。アニメと声優は深く関係していると知り、もっとくわしく知りたいたいと思い調べてみました。一つの作品の役に選ばれるまでは、とても大変な道のりで、たくさんの苦労があることを知り驚きました。限られた人しかできない仕事、選ばれる確率はかなり低い、それでも、やってみないと分かりません。私は、将来、人を笑顔にできる声優になりたいです。